

## 海外安全対策情報（2017年4月～6月）

### 1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

- (1) ルアンダ州における犯罪件数は、以下に記載のとおり引き続き高い水準で推移しております。加えて、同記載数値は当館警備会社から提出された資料に基づくものであり、ここに計上されない犯罪も多数発生していることが想定されます。特に人口密集地域においては、各種犯罪<sup>ii</sup>に対する十分な注意が必要です。
- (2) 内戦終結後十数年が経過した現在においても銃器が国内に広く出回っており、銃器を使用した強盗等の犯罪被害が報告されています。特に当地では、オートバイを使用した複数名での犯行が多数報告されておりますので、車両乗車中のドアロックの徹底や走行（移動）ルートを選定等についても十分注意してください。
- (3) 治安が悪いとされる地区においては、夜間だけでなく日中であっても駐車中の車両を標的とした車上荒らしや主に外国人を狙った強盗（ひったくり含む）犯罪が数多く発生しています。従って当地では可能な限り単独での徒歩移動は慎み、華美な服装や目立つ所持品の携行は避けてください。
- (4) 当地では外国人を標的とした誘拐も発生しております。過去には中国人が実際に被害に遭う事案も報告されており、特に治安の悪い地域等においては、犯罪リスク軽減のために、目立つ行動を控えてください。
- (5) 当地では、上述した以外にも空港や路上等において、邦人が被害対象となるトラブルが発生<sup>iii</sup>しております。詳細は本文末にも記載しておりますので、参考にしてください。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪数の推移

- (1) 4月～6月のルアンダ州の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪発生件数は1,180件（前四半期：1,308件）となっております。その中で特筆すべき犯罪及び件数については、以下のとおりです。

#### 【一般犯罪・凶悪犯罪】（）内は前四半期件数

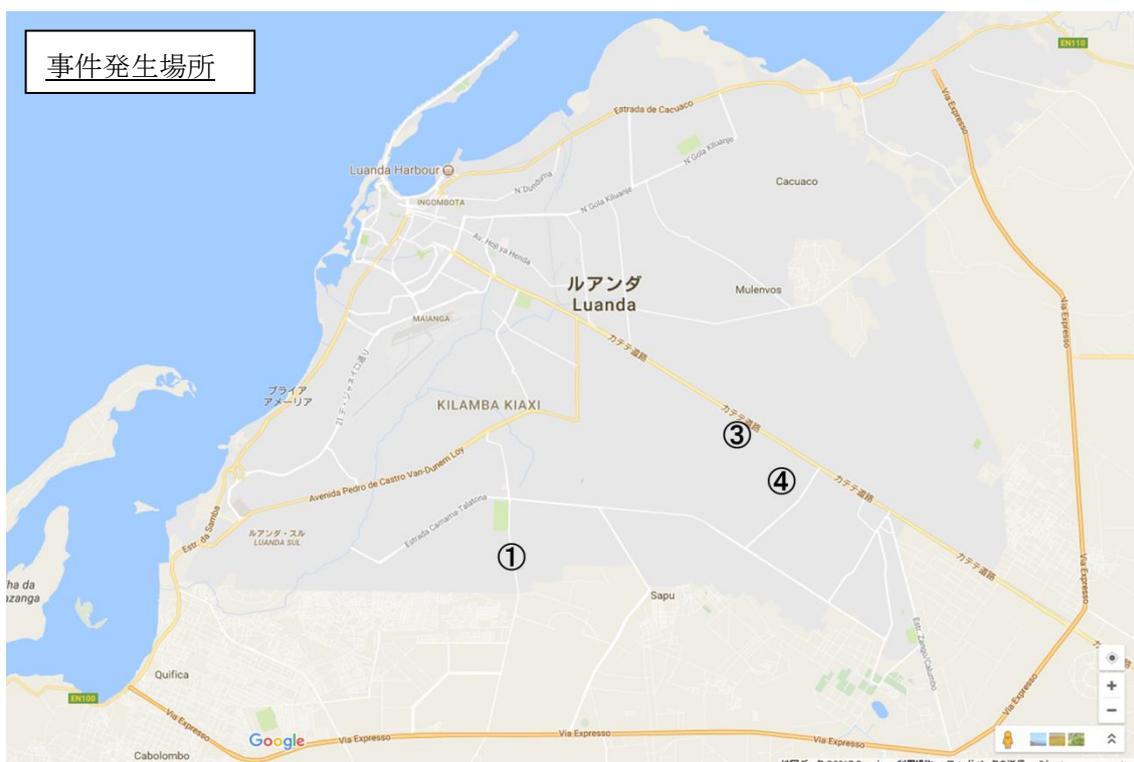
殺人	135件（120件）
強盗	157件（224件）
傷害	119件（150件）
強姦	86件（108件）

#### 【その他】

火災	161件（213件）
逮捕者	519名（640名）
交通事故	292件（533件）
交通違反者	12,494件（12,594件）

## (2) 犯罪事例

- ① 4月5日(水)、ポルトガル人男性(62歳)が、6年間雇用していた運転手とその仲間に殺害され、翌月22日に発見される事件が発生しています。犯行の動機は金銭であったと報道されておりますが、別の報道によると、被害者が容疑者に対し、人種差別的な発言をしたとされています。人前で多額の現金を扱う際や使用人等に注意を促す場合の方法には十分注意してください。
- ② 4月18日(火)午前7時頃、カママ地区にて渋滞中の車両を狙った強盗事件が発生し、その犯行を目撃した軍人と犯人2人組の間で銃撃戦が起こり、流れ弾に当たった女性(43歳)が死亡しました。特に都市部においては、通勤時間帯に発生する渋滞で動けなくなった車両等を標的とした強盗事件が多発しており、大きな社会問題となっています。
- ③ 5月9日(火)、ヴィアナ地区において、非番の警察官2名が運転する私有車両を狙った強盗事件が発生しました。犯人は、バイクに乗車し、銃器を所持した二人組であり、被害者2名に向けて発砲しています(被害者1名が死亡、1名が重体)。
- ④ 6月26日(月)、帰宅中の軍人(26歳)が、バイクに乗車した2人組に射殺される事件が発生しています(被害者の乗車していたバイクは盗まれました)。



事件②に関する詳細な場所は不明

## 3 テロ・爆弾事件発生状況

当該期間中におけるテロ・爆弾事件発生に関する情報はありますが、イスラム過激派に忠誠を誓ったとされる6人の若者が逮捕されたことを受け、6月22日にアンジェロ・タバレス内務大臣がアンゴラ国内でテロ発生の可能性について注意喚起を促しています。

#### 4 主な誘拐・脅迫事件発生状況

当該期間中における発生の情報はありません。

#### 5 日本企業の安全に関わる諸問題

特に問題となる情報はありません。

---

i 当国治安当局による犯罪発生（認知）件数の公式発表は、過去一度も行われておらず、本情報内の各犯罪・事故等にかかる件数や報告内容は、当館警備会社が独自作成した資料に基づくものである。

ii 過去に邦人が被害を受けた事件一例、①所持品を狙った強盗事件、②車上荒らし、③車両部品の盗難、④住居侵入被害等。

iii 過去に邦人が被害を受けた事案一例、①空港での不当な金銭要求、②港湾施設や政府関係施設の撮影を巡るトラブル、③当国官憲からの不当な金銭要求等